

トピックス

「伊勢湾再生行動計画」の策定

伊勢湾は、県民の生活・文化や産業活動など、多くの面で私たちと深い関わりがあり、その存在自体がかけがえのない資源・資産でもあります。しかし、近年、水環境の悪化、干潟・藻場・浅場等の減少による自然浄化能力の低下、地場産業を支えてきた沿岸漁業の低迷、親水空間の減少など多くの課題も抱えています。

このような状況を踏まえ、伊勢湾を再生し、健全な姿で次世代に継承するためには、三重県のみならず、伊勢湾に関係する全ての自治体や国等が共通認識を持ち、連携して取り組んでいくことが重要です。

そこで、平成18年2月に、国の関係省庁と三県一市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）等で組織する「伊勢湾再生推進会議」を設立し、平成19年3月に「伊勢湾再生行動計画」を策定しました。

行動計画では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」をスローガンに、①健全な水・物質循環の構築 ②多様な生態系の回復③生活空間での憩い・安らぎ空間の拡充 の3つの基本方針に沿って、伊勢湾再生のための目標である「伊勢湾の環境基準の達成を目指し、多様な生物が生息・生育する、人々が海と楽しく安全にふれあえる、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生」を目指すこととしています。

今後は、沿岸域及び流域の人々やNPO、産学官等の多様な主体が協働・連携して、この行動計画を推進し、伊勢湾の再生を図っていきます。

